

4°C

holdings group

株式会社4°Cホールディングス 第67期第1四半期株主通信

(2016年3月1日から2016年5月31日まで)

株主の皆様へ

～ すべてはお客様の“笑顔”や“ときめき”のために ～

当社グループは、全てのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただけましたら幸いです。



代表取締役社長 鈴木 秀典

2016年度のスタートにあたって

去る5月19日(木)、品川インターシティホールにて第66回定時株主総会を開催しました。おかげをもちまして、各議案は滞りなく承認・可決されました。株主の皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。当社グループは、「Challenge & Evolution (挑戦と進化)」をテーマに掲げた第4次中期経営計画の2年目を迎え、引き続き「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組んでおります。2017年2月期は連結売上高515億円、営業利益65.5億円、経常利益77億円、当期純利益49.5億円を数値目標として掲げ、過去最高益の更新を目指してまいります。

2017年2月期第1四半期の総括

2017年2月期第1四半期の連結業績は、売上高は115億88百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益は15億47百万円(同14.8%増)、経常利益は18億60百万円(同10.5%増)、四半期純利益は12億17百万円(同0.4%

増)となりました。なお、第1四半期連結累計期間としては、営業利益が2ケタ増益となり、経常利益、四半期純利益は、ともに過去最高となりました。四半期純利益においては5期連続で最高益を更新しました。

事業別業績については、ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、主力の「4°C」(ヨンドシー)ジュエリーは、既存店の改装にあわせたゾーン、アイテムの拡充等により堅調に推移しました。また、「canal4°C」(カナルヨンドシー)や「Luria 4°C」(ルリアヨンドシー)を中心とした積極的な出店拡大や、ブランドミックスのシナジーを活かした複合店・隣接店の展開に引き続き取り組みました。加えて、前年同期比2ケタ成長を続けるEC事業の好調な推移も業績を牽引した結果、増収増益となり、売上高、営業利益ともに過去最高を更新しました。

アパレル事業では、アスティグループは、企画提案力と生産背景を活かした主力得意先との取り組み強化が奏功し、好調に推移しました。(株)アーजूでは、主力のデイルーフッション事業「パレット」の出店拡大を進めるとともに商品構成力の強化による利益改善に取り組み、好調に推移しました。また、(株)三鈴を2016年4月28日の株式譲渡に伴い当連結会計年度より当社の連結子会社から除外しています。その結果、大幅増益となりました。

第4次中期経営計画の基本方針 (2016年2月期～2018年2月期)

スローガン：挑戦と進化 Challenge and Evolution 「100年企業」、「100年ブランド」を目指して

【事業ビジョン】

- | | | |
|---|--------------|--|
| 1 | FDCプロダクツグループ | チャンネル戦略の推進とゾーンおよびアイテム拡大によるジュエリーSPA事業の更なる成長 |
| 2 | アスティグループ | アパレルメーカー事業の拡大とホールセール事業の再構築 |
| 3 | (株)アーजू | パレットの認知度向上によるデイルーフッション事業の拡大 |

【組織ビジョン】

- | | | |
|---|----------------|---------------|
| 4 | 「4°C」ブランドの価値向上 | グループシナジー体制の推進 |
| 5 | EC事業の成長 | グループ人材育成の推進 |
| 6 | 海外小売事業戦略の推進 | グループ経営管理機能の強化 |

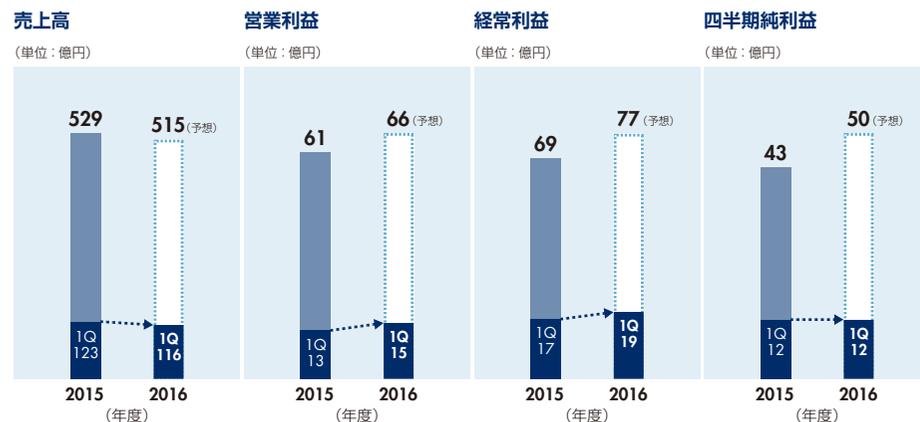
2017年2月期第1四半期(2016年3月～5月) 連結決算概要

2017年2月期第1四半期連結業績

■ 連結子会社であった(株)三鈴の株式譲渡により、売上高は前年同期を下回りましたが、ジュエリー事業、アパレル事業ともに好調に推移した結果、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前年同期を上回りました。なお、経常利益、四半期純利益ともに第1四半期累計期間としては過去最高を更新しました。

■ 2017年2月期第2四半期累計期間および通期の連結業績は、当初計画通り減収増益、各利益ともに過去最高を更新予定です。

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
11,588 百万円 (前年同期比 △5.8%)	1,547 百万円 (前年同期比 +14.8%)	1,860 百万円 (前年同期比 +10.5%)	1,217 百万円 (前年同期比 +0.4%)



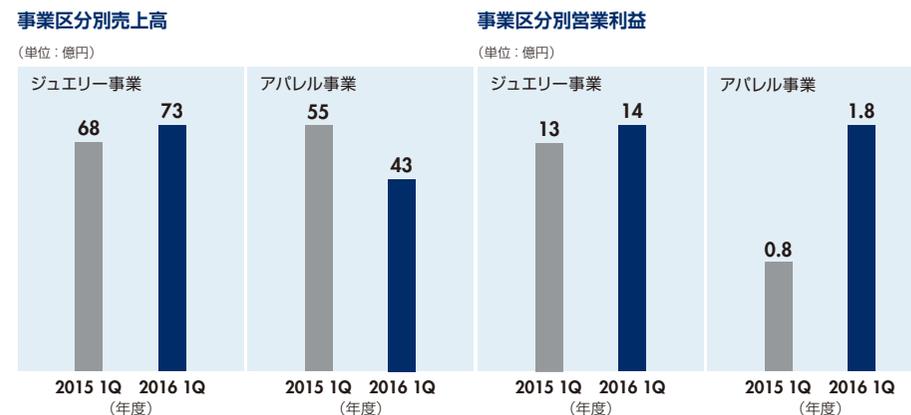
セグメント情報

■ ジュエリー事業は増収増益となりました。「4°C」ジュエリーがゾーン、アイテムの拡充等により堅調に推移しました。また、「canal4°C」や「Luria 4°C」の積極的な出店拡大や、複合店・隣接店の展開、EC事業の好調等により、売上高、営業利益ともに過去最高を更新しました。

■ アパレル事業は減収大幅増益となりました。アスティグループのアパレルメーカー事業の主力得意先との取り組み強化や、(株)アーヂュのデイリーファッション事業の商品構成力強化による利益率の改善が奏功し、好調に推移しました。

事業区分別業績	売上高 (単位: 百万円)			セグメント利益 (単位: 百万円)		
	2016年2月期 第1四半期	2017年2月期 第1四半期	前年同期比(%)	2016年2月期 第1四半期	2017年2月期 第1四半期	前年同期比(%)
ジュエリー事業	6,827	7,305	+7.0	1,282	1,382	+7.8
アパレル事業	5,479	4,283	△21.8	79	178	+123.0

注1: 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2: 外部顧客に対する売上高を表示しています。



トピックス

平成28年熊本地震復興支援プロジェクト「LOVE JAPAN」

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

この度の「平成28年熊本地震」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。当社グループにてジュエリーブランド「4℃」を展開する(株)エフ・ディ・シー・プロダクツでは、2016年4月29日(金)～5月29日(日)に、4℃復興支援プロジェクト「LOVE JAPAN」を実施しました。この復興支援プロジェクトの期間における売上金の一部を、被災地の復興にお役立ていただくために日本赤十字社を通じて寄付させていただきました。被災地の一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。



4℃復興支援プロジェクト「LOVE JAPAN」の活動告知ポスター

4℃宮崎山形屋店リニューアルオープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2016年4月5日(火)、4℃宮崎山形屋店は4℃ブランドの複合店としてリニューアルオープンしました。これまで展開していたブランドの「4℃」に加えて、「4℃ BRIDAL」、「EAU DOUCE 4℃」(オデュースヨンドシー)を新たに加えることで、幅広いアイテム展開と豊富な品揃えを実現しました。新しく生まれ変わった4℃宮崎山形屋店に、ぜひお越しください。



4℃宮崎山形屋店

「AQUA PROGRAM」チャリティフェア開催

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

あらゆる生命に恵みをもたらす「水=AQUA」に深い共感を持つ「4℃」が、水問題を抱える女性たちを支援するために2008年から「日本水フォーラム」との共同プロジェクトとして継続的に取り組んでいるチャリティ活動「AQUA PROGRAM」。その一環として、「4℃」、「canal4℃」、「EAU DOUCE 4℃」、「Luria 4℃」の4ブランドで2016年7月15日(金)～7月24日(日)にチャリティフェアを開催します。お買い上げいただいた金額の一部を、深刻な水問題に直面しているバングラデシュの水供給・衛生を改善する活動に活かしてまいります。



「AQUA PROGRAM」のチャリティ活動告知ポスター

Luria 4℃博多マルイ店オープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2016年4月21日(木)、「Luria 4℃」の九州地区の第1号店として博多マルイ店をオープンしました。出店場所は3F上りエスカレータ横の視認性の高い好立地な場所となっています。「ジュエリーのようにキラキラきらめくジュエルパースに触れるたびに、毎日が輝きで満たされますように」という願いを込めて、これからも多くの方々に愛されるブランドとして、さらなる成長へ向けてまい進します。



Luria 4℃博多マルイ店

canal4℃イオンモール京都店リニューアルオープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2016年4月21日(木)、canal4℃イオンモール京都店は「Luria 4℃」との複合店としてリニューアルオープンしました。2つのブランドを展開することでアイテム展開の幅が広がり、相乗効果により集客力も高まりました。今後もブランドミックスの展開等により、お客様にお喜びいただけるお店作りに取り組んでまいります。



canal4℃イオンモール京都店

パレット祭「夏の陣」を開催

株式会社アージュ

(株)アージュが展開するデイルーフッション事業パレットでは、2016年6月1日(水)から3週間にわたり、半期に1度の大感謝祭パレット祭「夏の陣」を開催しました。お客様に日々ご愛顧いただいております感謝の気持ちを込めて、第一弾「感謝の日替り超特価」、第二弾「男祭り」、第三弾「父の日セール」と、毎週趣向を凝らした演出を実施しました。今後とも、お客様にご満足いただけるようなお店作りを目指してまいります。



IRニュース 第66回定時株主総会のご報告

去る2016年5月19日(木)、東京・品川インターシティホールにおいて第66回定時株主総会を開催しました。当日は414名の株主様にご出席いただきました。本年度も、当社グループが取り組んでいる社会貢献活動を紹介したパネルや、2016年2月末時点の株主様を対象とした株主優待品の展示を会場にて行いました。

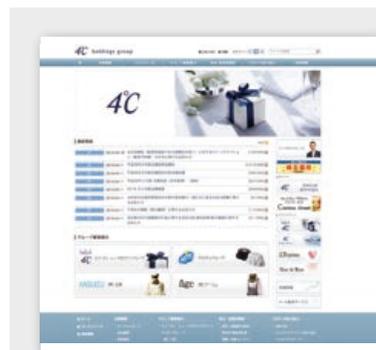
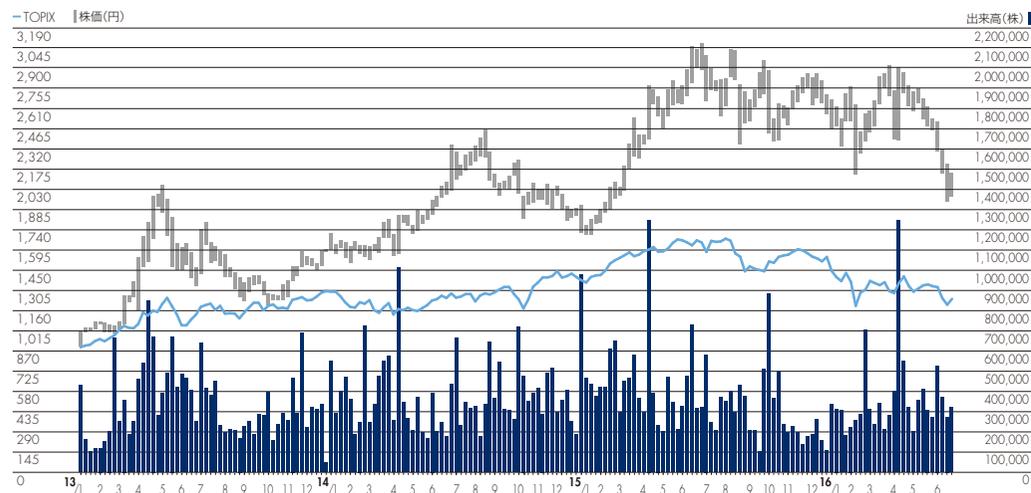
総会では、スライドとナレーションにより第66期事業報告及び連結計算書類ならびに計算書類の内容を報告しました。

質疑応答では、ご出席いただいた株主の皆様から当社の経営方針や業績概要について活発なご質問を頂戴しました。

また、剰余金処分、取締役選任の件等の各議案について承認可決いただきました。当社は株主総会を株主の皆様との直接的な対話の機会とし、株主様からの貴重なご意見・ご感想を今後の事業活動に反映してまいります。



株価推移



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <http://www.yondoshi.co.jp>

IRお問い合わせ先 TEL:03-5719-3429/FAX:03-5719-3289

経営企画部IR課 E-mail: ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

■ 会社概要 (2016年5月31日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業および小売事業
連結子会社	9社

注：2016年4月付にて(株)三鈴の全株式を健康コーポレーション(株)様へ譲渡しております。

■ 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法)当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) http://www.yondoshi.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

■ 株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都江東区東砂7-10-11

お問い合わせ先

0120-232-711 オペレーター対応/受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

各種手続き用紙のご請求

0120-244-479 音声自動応答/24時間受付

(ご注意)

1. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り次ぎいたします。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
3. 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知ください。